

お願いのことば

来る10月19・20・21日、大須大道町人祭が開催されます。

昭和53年に始まった大須大道町人祭も今年は第30回を迎えることとなりました。また平成19年の今年は、干支で見ると丁亥にあたり、元禄16年（1703）から約60年周期で行われている「お鯨祭り」の開催年にあたり、尾張各地ではその準備を進めているようです。

大須大道町人祭実行委員会では第30回の記念の今年に、お鯨祭りの60年目を迎えたことを千載一遇の好機ととらえ、第30回の記念行事として《平成大須の「お鯨祭り」》を開催することに決定いたしました。

《平成大須の「お鯨祭り」》では文政10年（1827）に流行したお鯨祭りの資料に基づき、張りぼてなどの見立てを作り再現します。大須を東西で分け、それぞれ1つずつ巨大な作り物を手作りで作り上げ、大須大道町人祭の初日の10月19日に大須商店街内を賑やかに練り歩く予定です。西側では9メートルの巨大クジラの再現をし、東側では巨大タコで対抗します。大須裏門前で仮装されたオカマ花魁道中も再現し祭に花を添えます。その他にも、巨大招き猫、巨大おたふく面、大須丸、かつぽれなども行列に参加が予定されています。

大須でお鯨祭りを開催することにより、尾張各地で開催予定のお鯨祭りと共に、「尾張・名古屋」の元気を全国にアピールし、名駅、栄には真似の出来ない「大須商店街の心意気」を見ていただきます。また先代達が60年周期で引き継いだお鯨祭りを引き継ぐことは、尾張で生活する者の使命であり、その代表として「大須」が名乗りを挙げることは、必ず市民の支持を得られると確信しております。そして小さな子供達を祭に加えることにより、60年後の「2067年お鯨祭り」を次世代の子孫達に引き継ぎます。

つきましては、大須商店街各店並びに大須在住の皆様からの寄付をお願いし、60年に一度の《平成大須の「お鯨祭り」》を成功させたく存じております。

皆様には諸事ご多端の折、誠に恐縮に存じますが、お鯨祭りの趣旨を何卒お酌み取り頂き、格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年8月

大須商店街連盟

会長 小野章雄